

2025 年度
災害時用エアーテント一式
仕様書

須坂市消防本部

災害時用エアーテント仕様書

第1 総則

1 目的

この仕様書は、須坂市消防本部（以下「当本部」という。）が、2025 年度に整備する災害時用エアーテント（以下、エアーテントという。）及び付属品についての仕様を定める。

2 概要

エアーテント及び付属品については、各種災害活動に使用する資機材である。

3 調達上の注意

エアーテント及び付属品については 2025 年に製造された物とする。また、全般にわたって検査が行われ、本仕様書記載のもので次のとおりとすること。

- (1) この仕様書で疑義が生じた場合、又は仕様書に記載の無い事項については事前に当本部と協議し、その指示に従うこと。
- (2) 制作の細部について疑義が生じた場合、又は仕様書に無い事項で必要と認められる事項については、その都度当本部の担当者と協議し、指示を受けること。

4 エアーテント及び付属品

エアーテント及び付属品は別表のとおりとし、この仕様書で指定するもの以外で公表された標準添付品はすべて納入すること。

(1) エアーテント一式

※アキレス株式会社（アキレスエアーテント A-66WR）を参考品とした。

展張時サイズ：長さ 6.0m×幅 6.0m×高さ 3.0m

収納時サイズ：横 1.2m×縦 1.0m×高さ 0.7m

重量：145 kg以下

(2) 付属品

別表 1 のとおり

5 納入場所等

(1) 納入場所

須坂市消防本部

(2) 納入期限

2026 年 3 月 31 日

(3) 納入方法

ア 納入日程は事前に当本部の担当者と協議し、同意を得た上で確定すること。

イ 搬入等、本仕様を満たすために必要となる一切の費用を入札価格に含めること。

(4) 取扱い説明

受注者は、エアーテントの納入にあたり、取扱い要領及び資機材の取扱いについての説明会を行うとともに、本体及び付属品の取扱い説明をA4版のファイルに一括綴じで作成し、1部を提出すること。なお、説明指導の実施日時については、納入前に当本部と調整すること。

6 保証期間等

納入完了後、1年以内に正常な使用にも関わらず物品に不具合が生じた場合、受注者は迅速に無償で納入品の修理又は交換をすること。

ただし、保証期間後でも設計、製作方法及び材質不良等に起因すると考えられる問題が生じた場合は、受注者が無償にて修復するものとする。

第2 仕様

1 本体

(1) 作業員による補助を必要とせず、ハンディブローアの充気のみでテント本体が自立する構造であること。

(2) 梱包状態から、開梱、充気、展張までを少人数（4人程度）で、15分以内で終了でき、かつ展張状態から梱包状態まで戻すのにも15分以内で終了出来ること。

(3) 寸法については、本体展張時外寸が長さ6.0m×幅6.0m×高さ3.0m（公差±7%）とし、重量については145kg以下とすること。

(4) 構造

ア エアーテントは天幕、床、気柱、内幕の4主要部品にて構成されるものであること。

イ 必要に応じて交換ができるよう、天幕、床、気柱、内幕はそれぞれ分離できる構造であること。

ウ 気柱は金属やプラスチック等の構造物を取付ける作業を必要とせず、4本縦気柱と9本（3列）の横気柱により構成されるものであること。

縦気柱の直径は34.0cm±5% 横気柱の直径は27.0cm±5%とする。

エ 縦気柱と横気柱の結合は、テントの横揺れを抑え安全性を高めるために円周の結合だけでなく、円周前部を結合する全面結合方式であること。

オ 初期圧16.0kPaにて充気後、15時間経過時の内圧を14.7kPa以上に保つ気密性を有すること。

カ 気柱には過充気による損傷を防ぐため、安全弁を設置すること。

- キ 天幕の前後面各 1 箇所及び側面各 3 箇所は巻き上げ作業により開口できること。
- ク テント内部には蛍光灯を吊下げるための D 環を 12 箇所以上設置すること。
- ケ テントは 12 箇所の天幕固定用ロープと 8 箇所の床固定用ベルトにより固縛が可能
なこと。
- コ 全周二重天幕とすること。
- サ テント前後面、又は側面にインターフェイスを取付けることで冷暖房装置（可搬式
エアコン）を設置できるよう、専用のダクトを設けること。

(5) 素材

ア 天幕（防災 2 級）

合成繊維表面に C S M ゴムをトッピング加工し。裏面に C S M ゴムをコーティング
したゴム引布を用いること。

※トッピング加工とは、生布に糊引きを行い、その上にゴムシートを圧着すること
で気密性、耐水圧性を高める加工のことをいう。

イ 床（防災 2 級）

合成繊維表面に C R コーティングし、裏面に C S M ゴムをトッピング加工したゴム
引布を用いること。

ウ 気柱（防災 2 級）

(ア) 合成繊維の表面に C S M ゴムをトッピング加工し、裏面には C R ゴムを 2 層トッ
ピング加工したゴム引布を用いること。

(イ) 気柱素材表ゴム層には抗菌・防カビ剤を練り込んだ素材を使用すること。

※裏面 C R ゴム層に微細な傷やピンホールが発生した場合に備え、裏面 C R ゴム
層は必ず 2 層トッピング加工を行うこと。

（※トッピング加工とは生布に糊引きを行い、その上にゴムシートを圧着するこ
とで気密性、耐水圧性を高める加工のことを言う。）

エ 内幕

合成繊維の両面に PVC を張り合わせたターポリンを用いるものとする。

(6) 表示布

ア 天幕両側面に、サイズ縦約 100cm×横約 400cm の天幕同生地横表示、「長野県 須
坂市消防本部」を、面ファスナー（テント本体同色）にて取付ける。

イ 天幕前後面出入口上に、サイズ縦約 40cm×横約 90cm の天幕同生地横表示、「長野
県 須坂市消防本部」（2 行）を、面ファスナー（テント本体同色）にて取付ける。

ウ 天幕前後面出入口横に、サイズ縦約 120cm×横約 20cm の天幕同生地縦表示、「現場
指揮本部」、「現地合同調整所」、「応急救護所」の 3 種を、面ファスナー（テント本体
同色）にて取付ける。

※表示布への書式等については、担当者と協議すること。

(7) その他

ア テント本体はISO9001及びISO14001認定の工場にて完成検査を受けているものであること。

イ 現在保有しているエアーテント1基（長さ約6.0m×幅約6.0m×高さ約3.0m、重量約150 kg）の処分料も含めるものとする。

以上

別表 1

I エアーテント本体

No.	品名等	数量	単位	備考
1	エアーテント（内天幕込み）	1	基	想定品：アキレスエアーテントA-66WR 6×6×3m オレンジ
2	ブルーシート（PE）床上掛け	1	枚	#3000番以上
3	ブルーシート（PE）床下掛け	1	枚	#3000番以上
4	フットポンプ	1	個	容量2.6ℓ以上
5	固定用ロープ	12	本	
6	天幕用固定用テントペグ	12	本	
7	床固定用ロープ付テントペグ	8	本	
8	ハンマー	1	個	重量1.3kg以上
9	安定用砂袋	50	枚	
10	圧力計	1	個	
11	吊下げ用S字フック	36	個	
12	吊下げ用D環	36	個	
13	補修セット	1	式	
14	付属品収納ケース	1	個	

II 装備付属品

1	表示布（天幕両側面、横1行）	1	式	長野県 須坂市消防本部
2	表示布（出入口各上部、横2行）	1	式	長野県 須坂市消防本部
3	表示布（出入口各左部、縦1行）各2	3	式	現場指揮本部、現地合同調整所、応急救護所
4	ハンディプロア	1	台	AM-100HP AC100V 最大風量2.9m ³ /分、最大送気圧32kPa以上
5	エアー分岐セット	1	式	4系統
6	照明灯（LEDレンカライト）	4	式	コード長2.5m プラスチックチェーン3m
7	照明灯収納用プラスチックケース	1	個	6本収納
8	出入口用防虫メッシュ	1	式	2枚組
9	ポータブル電源	1	台	EcoFlow DELTA Pro3 4,096Wh 同等品
10	発電機	1	台	ヤマハEF2800ISE（2.8kVA）同等品
11	冷暖房装置（台座付き）	1	台	可搬型エアコン CAC-T3.6 冷房能力3.6kw以上 接続布込み